

広報

あかいけ

7

大きな花を咲かせてねっ



2003 同和問題
啓発強調月間

●愛情をたっぷりそそいで人権の花「ヒマワリ」を育てている上野小3年生のお友だち。みんなもヒマワリも、いまが伸びざかりです。

上野小のみんなが、開花を心待ちにしている
人権の花「ひまわり」。

愛情を込めて、種から育てました。
毎日あいさつして、水をあげて、声をかけて…
みんなの笑顔に見守られながら
すくすくと伸びています。

太陽に向かって、大きな花を広げる
その日を夢見て、子どもたちは、
今日もジョウロを片手に話しかけます。
「ぜったい咲いてよね」。

わたしたちは、この町から、社会から
差別が無くなることを信じて、
今年も同和問題啓発強調月間に取り組みます。

太陽に向かって「ひまわり」が咲くように。
みんなが幸せで、大切にされる町をつくるために
大きな心の花を咲かせたい…そう願っています。

赤池町同和問題啓発推進協議会



今回は、同和問題をはじめと
する人権啓発活動などについて、
3人の人権擁護委員の皆さんに、
お話をうかがいました。



人権擁護委員は法務大臣から
委嘱を受け、人権啓発や相談
などの活動を行っています。
赤池町の人権擁護委員は次の
3人です。なお相談は、法務局
のほか、委員の自宅の電話で
も受け付けます。写真右から、
□ 藤本鈴子さん TEL 28-5488
□ 荒木完治さん TEL 28-2118
□ 山村光政さん TEL 28-3088
■ 福岡法務局田川支局
TEL 44-1426

人

権の町づくりを進
めるなかで中核的
な位置づけにある

のが地域だと思えます。例え
ば、地区公民館の掲示板にそ
の地域の子どもたちが描いた
人権ポスターや標語を掲示す
る。すると、そこに集まる人や
通りがかる人がそれを見て考
え、そして会話が生まれ、家庭
でも話題になるでしょう。こ
のような活動がお互いの関わ
りを大切にするにつながら
り、地域の活性化や教育力の
醸成につながるかと思えます。
7月は同和問題に関する
様々な事業が行われますが、
事業を行う上で心がけなけれ

者が何かを得て帰れるような
事業が求められます。そこに
赤池にしかない、赤池独自の
「らしさ」があると、より魅力
的なものになります。
しかし、そのような行事に
参加する人はごくわずか。無
関心なのか、それとも忙し
すぎるのか…何もかも急ぎすぎ
る現代社会の中で、私たちは

自分を見つめ他人を
認めると人の存在が
大切に思えてきます

テーマをしぼった
「らしさ」が光る事業で
参加者に何かを得て欲しい

ゆっくり歩いて、じっくり自
分を見つめることが必要な
ではないでしょうか。
人は一人では生きていけま
せん。「相手の痛みがわかる、
人を大切にすることは何か」
そう考えたときに、一人ひと
りが認められ、存在が大切に
される社会が見えてきます。
人は、存在することに意義が
あるのですから。
私たちは、いま、人権の町
づくりの種をまいています。
「近い将来に、すばらしい花
を咲かせて欲しい」そんな願
いを込めながら、これからも
啓発活動に取り組んでいきたく
と思います。

人権の種が実ることを願って

人権擁護委員 荒木 完治さん

ばならないのが具体的なテ
マです。それは長期的・中期
的な見通しを立て、何を大切
にするのか、一つひとつの行
事で視点を定めて取り組んで
いく。そのことが評価につな
がり、何が課題なのか分か
ります。そして研修会は「参
加して良かった」と思われる
事業の創造。健康者だけでな
く、障害を持たれているかた
やお年寄りも参加でき、参加



プロフィール あらき・かんじ (車道)
●直方第一中学校校長などを経て、平成12年から豊富な
教育経験を生かし人権擁護委員として活動。現在、田
川人権擁護委員協議会副会長・事務局長を務める。65歳。

同和問題強調月間の行事に参加した人は、およそ1割にすぎない。

問 7月の同和問題啓発強調月間の行事に参加しましたか？ 平成13年度人権・同和問題県民意識調査結果(15年3月報告)



※ 福岡県内の地対財特法対象地域外の有権者7000人を対象、回答3486、回収率49.8%

7月は県下一斉の「同和問題啓発強調月間」です。

- 差別や人権についていっしょに考えましょう。ぜひ、ご参加ください。
- 同和問題映画会… 7月8日(水)19:30~赤池町同和对策中央研修所
映画「あかね雲」を上映/参加無料
解説講師：田川地区同和啓発センター事務局長 堀内 忠さん
問い合わせ先：赤池町教育委員会学校教育課同和教育係 TEL28-4100
主催：赤池町同和問題啓発推進協議会
- 同和問題啓発強調月間講演会… 7月17日(土)13:00~田川文化センター
第1部：講演「私の歩いた道」原爆・同和問題の語り部 梅本テル子さん
第2部：一人芝居「学校IV」福岡市堅粕小学校教諭 福永 宅司さん
問い合わせ先：福岡県人権・同和对策局調整課 TEL092-651-1111
主催：福岡県/県教育委員会/福岡県人権啓発情報センター/入場無料



↑「献身」の花言葉を持つヒマ
ワリは、昭和57年に「人権の花」
に選ばれ、人権啓発運動のシン
ボルとして親しまれています。

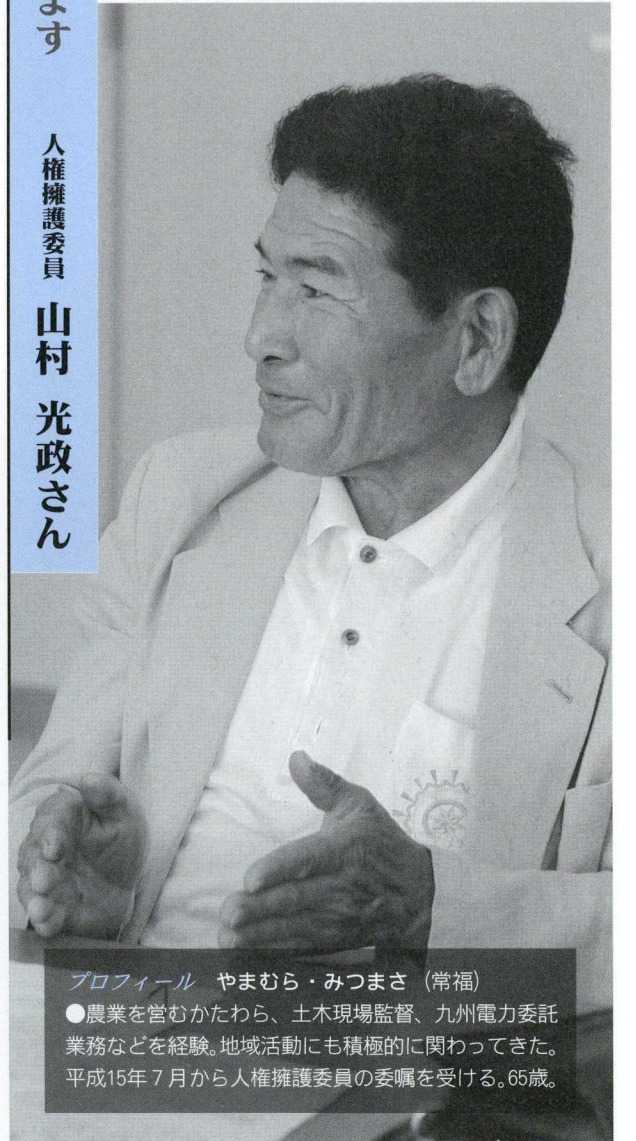
同

和問題や人権に関する話を聞いても上っ面だけ聞いて右から左へ抜けている人が多いような気がします。

同和問題や人権に関する行事は、参加者の出足がいまひとつのようですが、「秋祭り」などの行事は、知らないうちにみんなが寄ってきて、準備の段階からワイワイガガヤと、いい雰囲気を取り組んで

無関心が差別を許しています

人権擁護委員 山村 光政さん



プロフィール やまむら・みつまさ (常福)
●農業を営むかたわら、土木現場監督、九州電力委託業務などを経験。地域活動にも積極的に関わってきた。平成15年7月から人権擁護委員の委嘱を受ける。65歳。

5分でもいい、酒の席でも

いい、ざつくばらん

人権の話がもてる機会を

地域では様々な行事があり、人が集まる機会が多いものです。みんなが集まると話し合いがもてます。その時に5分でもいいんです。酒を酌み交わしながらでもいい。堅苦しく難しい話じゃなく、身近な人権に関する話題で、日ごろから会話をもちょうが大切なのではないでしょうか。

昔は車社会ではありませんでしたから、仕事帰りに田んぼのあぜ道で世間話もできました。しかし、現代社会は人と人とのふれあいが不足しています。みんな忙しすぎるん

「関わり」から心の痛みや弱さを知って欲しいんです

「自分は「何事にも無関心」です。私はやはり、会話や交流、人と関わりをもつことが人権の基本だと思います。いまは「何事にも無関心」

な中で、人の心の痛みや、人間の弱い所をたくさん見てきました。それが分かるから、より深いつながりというか、人の輪を大切にしたいという気持ちが強いです。無関心という響きは冷たい感じがします。今後も人との関わりを通して、心の温かい人づくりを心がけたいと思います。

↓6月9日に山村さんが育てた160本のヒマワリの苗を4区老人会のみなさんと人権擁護委員が、上野小学校庭の道沿いに植えました。



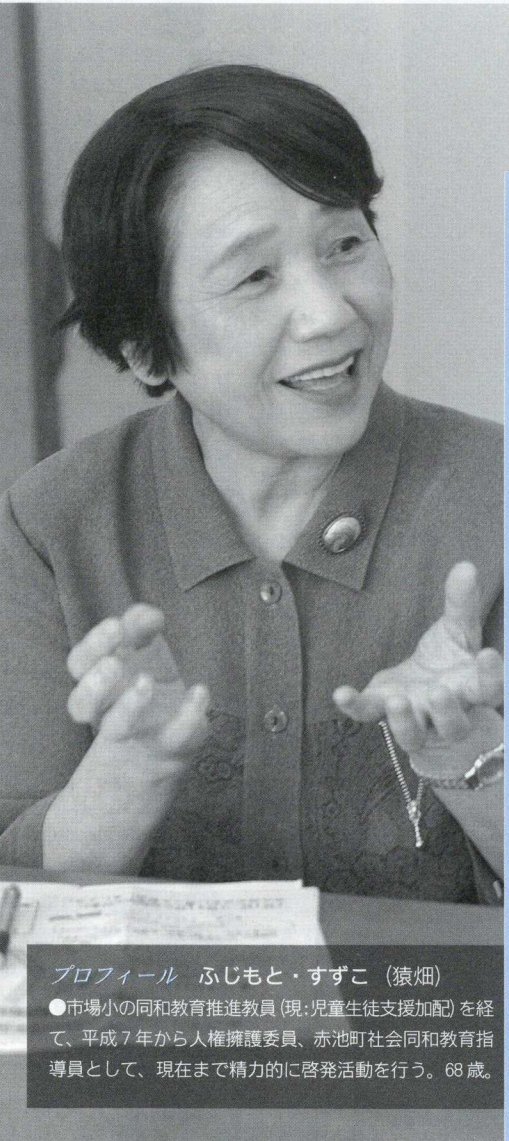
県

の人権擁護委員連合会の取り組みで4月にヒマワリの

種を上野小学校に持って行きました。そこで、児童に「種をまいて水をかければいいんやろ？」と聞いかけられました。私は「それだけじゃダメですよ。語りかけながらお世話をする」と、ヒマワリが『ありがとう』って花を咲かせるんですよ』って答えたんです。

先日、4区老人会のみなさんが集まり、上野小学校の子どもを思いやり、校庭にたくさんさんのヒマワリの苗を植えている姿を見て感動しました。その時に、やさしく話しかけながら水をあげている子どもがいました。その姿を見て「植物も人も同じ、会話を通して認め合う心が生まれるんだな」と実感したんです。

心かよわせるふれあいを通して、一人ひとりを大切にすること、認め合うことから始める。そういう地道な人権啓発が必要だと思います。それは「おしつけ」ではなく、自発的に行われるのが理想的です。しかし、町内では先進的な地域もありますが、まだまだ主体的な取り組みがなされていない地域もあるよ



町全体の問題を私の課題として 人権擁護委員 藤本 鈴子さん

プロフィール ふじもと・すずこ (猿畑)
●市場小の同和教育推進教員(現:児童生徒支援加配)を経て、平成7年から人権擁護委員、赤池町社会同和教育指導員として、現在まで精力的に啓発活動を行う。68歳。

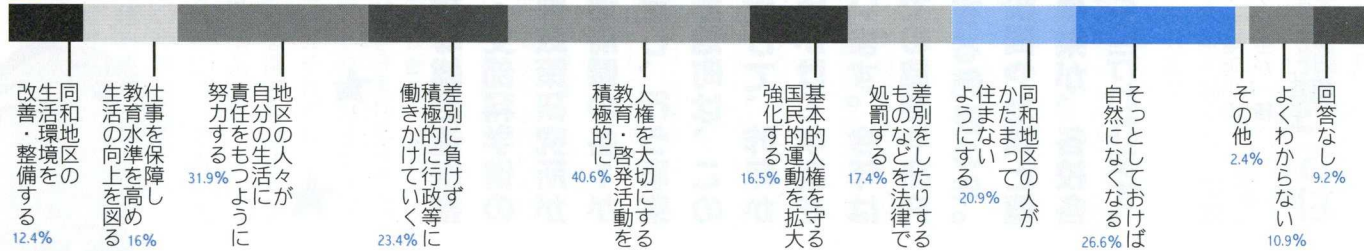
小さいころから子ども達の正しい人権感覚を育てる。それは、まず家庭から...

「会話を通して認め合う心が生まれる」そう実感したんです

同和問題をはじめ、あらゆる人権問題は、町民全体の課題です。差別をなくす主役はあなたであり、私なのです。「ひとごと」ではなく「私のこと」として、皆さんに考えて欲しいですね。今後もあらゆる機会を通して、差別をしない・させない・許さない人づくりに努めたいと思います。

「寝た子を起こすな論」「部落差別分散論」を支持する人が、依然として少なくない。

問 部落差別をなくすためにはどうしたらよいとお考えですか？ 平成13年度人権・同和問題県民意識調査結果(15年3月報告)



同和問題に対して「無関心」だと思ふ人の割合が最も多い。

問 人が同和問題に対してどのような考え方をもっていると思いますか？ 平成13年度人権・同和問題県民意識調査結果(15年3月報告)

